



2026年3月期

# 決算補足説明資料

株式会社リミックスポイント

2026年5月15日 | 証券コード：3825

# CONTENTS

業績概要 .....	05
主な事業別トピックス .....	07
エネルギー事業 .....	08
蓄電ソリューション事業 .....	18
デジタルアセットマネジメント事業 .....	25
Appendix .....	29

- リミックスポイントは、「エネルギー」と「テクノロジー」を両輪とした総合デジタルアセットマネジメント企業です



\*1 2026年3月期中間期より、名称をレジリエンス事業から変更

\*2 2026年3月期中間期より、名称をビットコイン・トレジャリー事業から変更

## エネルギー事業

### 電力小売事業



- 全国\*で高圧、低圧需要家に電力を供給
- Non-FIT太陽光発電所の運営



\* 沖縄エリアおよび離島を除く

## 蓄電ソリューション事業

### 蓄電池・再エネ・省エネコンサルティング関連事業



- FIP転化事業、系統用蓄電池事業
- 各種補助金等の活用支援に関するコンサルティング



## デジタルアセット マネジメント 事業

### ビットコインの 戦略的保有および運用



- 暗号資産の保有および運用



# 2026年3月期 業績概要

# 2026年3月期 連結累計期間実績

## ● エネルギー事業

- 販売代理店網の強化により、高圧は総契約容量・販売電力量共に前年同期比で増加、低圧も法人・家庭用ともに契約口数が大幅に増加
- 1年の大半の期間でJEPX価格が安価に推移したことによる販売単価下落の影響を、需要家数と販売量の拡大により吸収し増収となった。一方で、2026年2月28日に開始された米国・イスラエルによる対イラン軍事作戦とホルムズ海峡封鎖の影響から、同年3月にはJEPX価格が上昇し、市場調達コストが膨らんだこと等により、当第4四半期は減益となり、結果として前事業年度と比較して減益となった

## ● 蓄電ソリューション事業

- 蓄電池の販売代理店開拓や積極的な販売活動により、家庭用ハイブリッド蓄電システム「remixbattery」および小型産業用ハイブリッド蓄電池の販売台数が伸長
- 補助金採択案件の増加に加え、新規事業であるFIP転化事業の高圧・低圧案件の獲得や系統用蓄電池関連の販売も寄与し、増収増益

## ● デジタルアセットマネジメント事業

- ビットコイン等暗号資産の保有・運用を推進。保有暗号資産の評価損失58.9億円を計上

(単位：百万円)		2025年3月期 累計実績	2026年3月期 累計実績	増減
売上高	エネルギー事業	20,663	21,092	+428
	蓄電ソリューション事業	1,370	2,392	+1,021
	デジタルアセットマネジメント事業	▲2,049	▲5,887	▲3,837
	その他	1,144	154	▲990
	合計	21,129	17,751	▲3,378
営業利益 (▲は損失)	エネルギー事業	1,394	1,036	▲357
	蓄電ソリューション事業	290	559	+269
	デジタルアセットマネジメント事業	▲2,098	▲5,887	▲3,788
	その他	40	▲15	▲55
	セグメント調整額	▲837	▲1,170	▲332
	合計	▲1,211	▲5,477	▲4,265
経常利益 (▲は損失)		▲541	▲5,501	▲4,960
親会社株主に帰属する当期純利益(▲は純損失)		▲593	▲4,740	▲4,146

※デジタルアセットマネジメント事業の売上高には、保有する暗号資産および営業投資有価証券の評価損益のほか、レンディングによる暗号資産イールド収益が含まれております。

2026年3月期

# 主な事業別トピックス

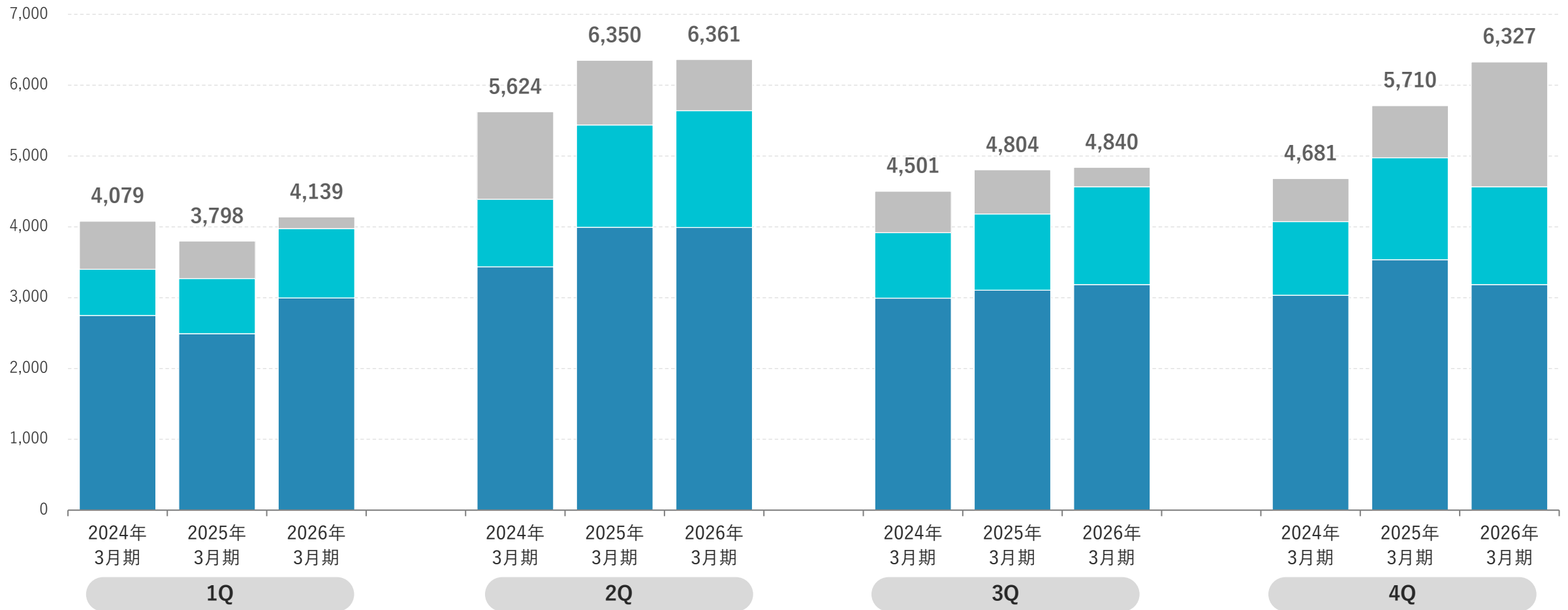


## エネルギー事業

# エネルギー事業（電力小売事業）

四半期毎の売上高推移(百万円)

■ 高圧 ■ 低圧 ■ その他

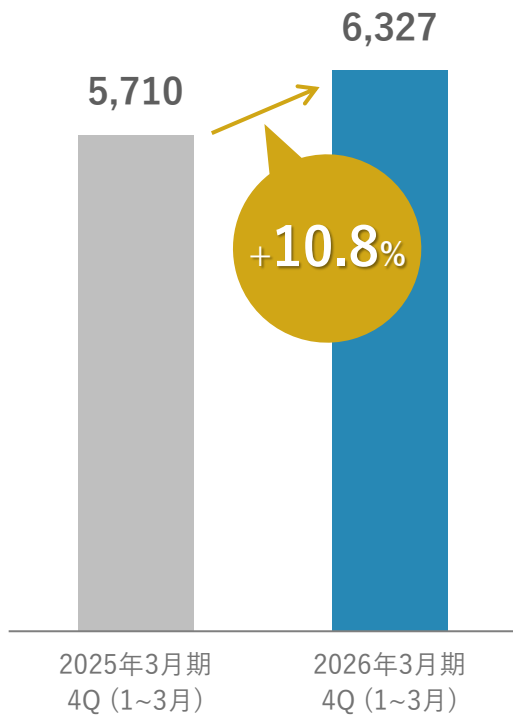


※「その他」には、電力市場において余剰電力を販売した売上や、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」における補助金売上が含まれます。

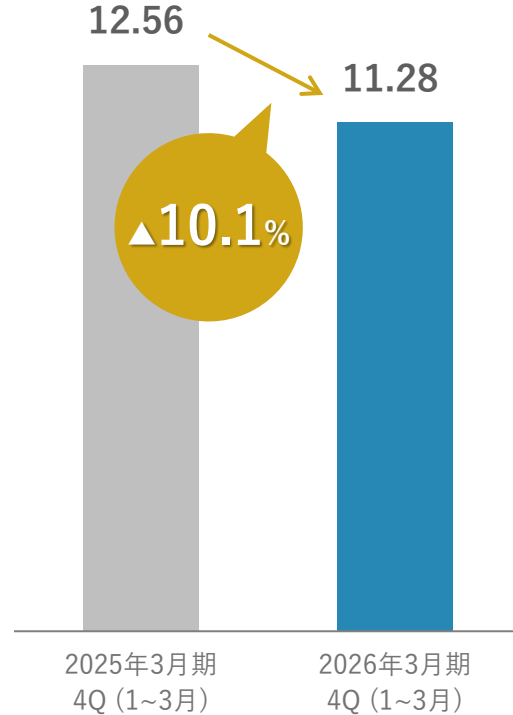
## エネルギー事業（電力小売事業）

- 高圧・低圧ともに**販売電力量が着実に拡大**
- JEPX価格低下の影響を数量増で吸収し、**前年比10.8%の増収**

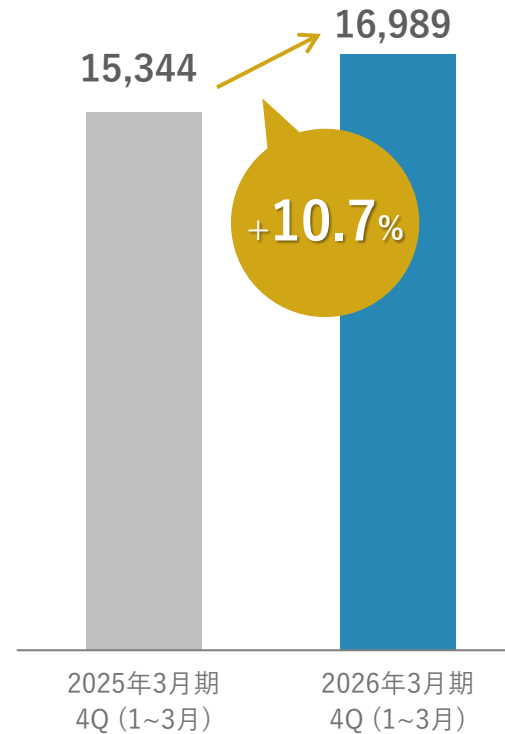
売上（百万円）



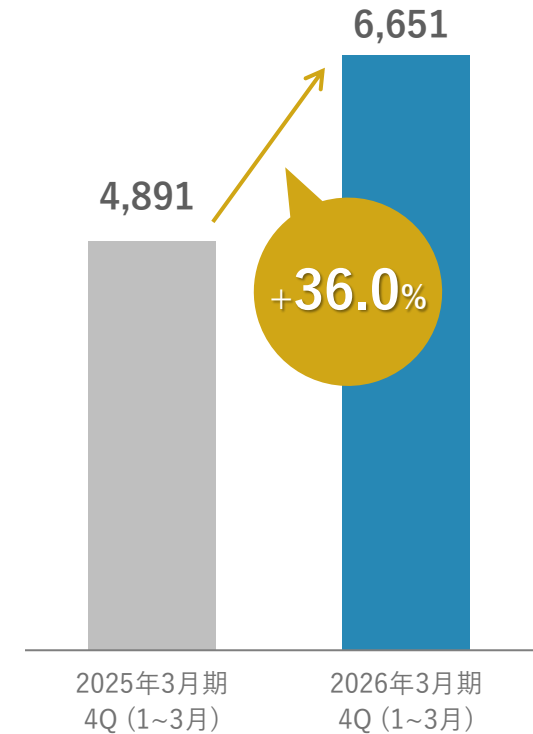
JEPXシステムプライス（円）



高圧販売電力量（万kWh）



低圧販売電力量（万kWh）





契約電力

50kW以上

- 契約区分：工場、病院、商業施設やビルといった大型施設が中心
- 電気使用量が時間帯で大きく変動（日中に大量消費し夜はあまり使われない）

当社における  
対応状況

契約口数	2,312件（27.1万kW程度）
------	-------------------

- 相対電源と市場電源の割合を需要家が選択できる「高圧チョイスプラン」の供給を開始。**高圧需要家向けのプランは全5プランとなり、幅広い需要家のニーズに対応**



# 高圧

## 産業・施設向け

- 電源構成が異なる**複数のプランを用意**することで、**高圧需要家の多様なニーズに対応**。また、電源調達柔軟性が増し、電力小売事業のリスクを低減。

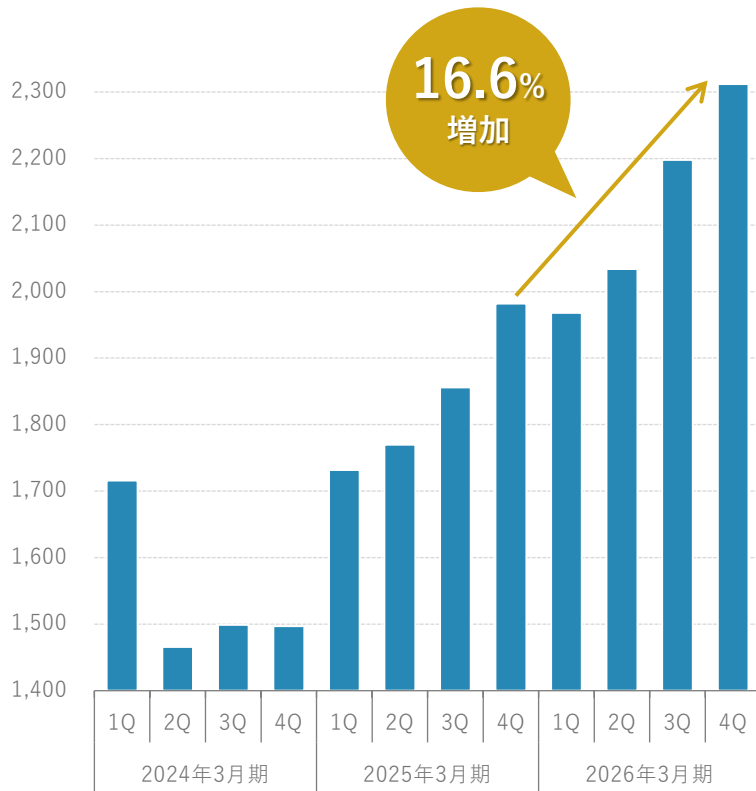
	JEPXスタンダードプラン	高圧スタンダードプラン	高圧フラットプラン
	<p>市場連動型 Daily JEPXの市場取引に連動</p>	<p>独自燃料費調整型 Monthly 燃料費調整額に連動</p>	<p>固定単価型 Years 市場に連動せず固定的</p>
プランの特徴	電気料金がJEPX(卸電力取引所)からの電力調達コストに連動するプラン	電気料金がJEPX、相対電源等のすべての電力調達コストに連動するプラン	電気料金単価を固定化した、電源調達コストに影響を受けないプラン
売上比率	40.4%	24.5%	24.8%

	高圧ハイブリッドプラン	高圧チョイスプラン
	<p>高圧ハイブリッドプラン 市場連動型と固定単価型の使い分け</p>	<p>高圧チョイスプラン 電源割合の選択により柔軟な調整が可能に</p>
プランの特徴	電気需要が高い夏・冬には固定単価プランが、電気需要が低い春・秋には市場連動型プランが適用される	相対電源と市場電源の割合を顧客が選択できるプラン
売上比率	10.3%	0.0%

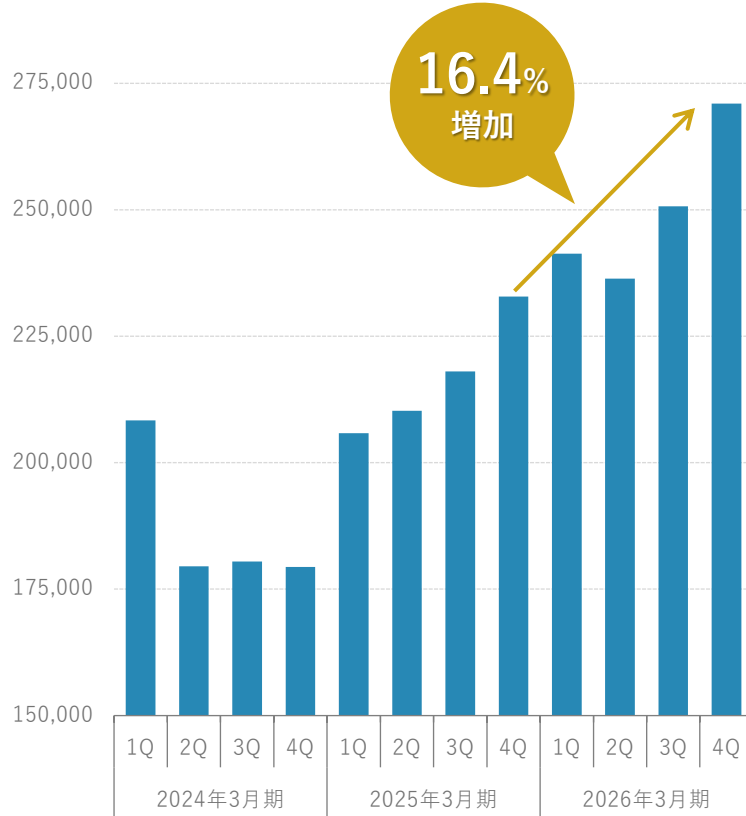
- 販売代理店網の強化により、**契約口数・契約kW・販売電力量が前年同期比で増加**

## 高圧需要家の獲得状況推移

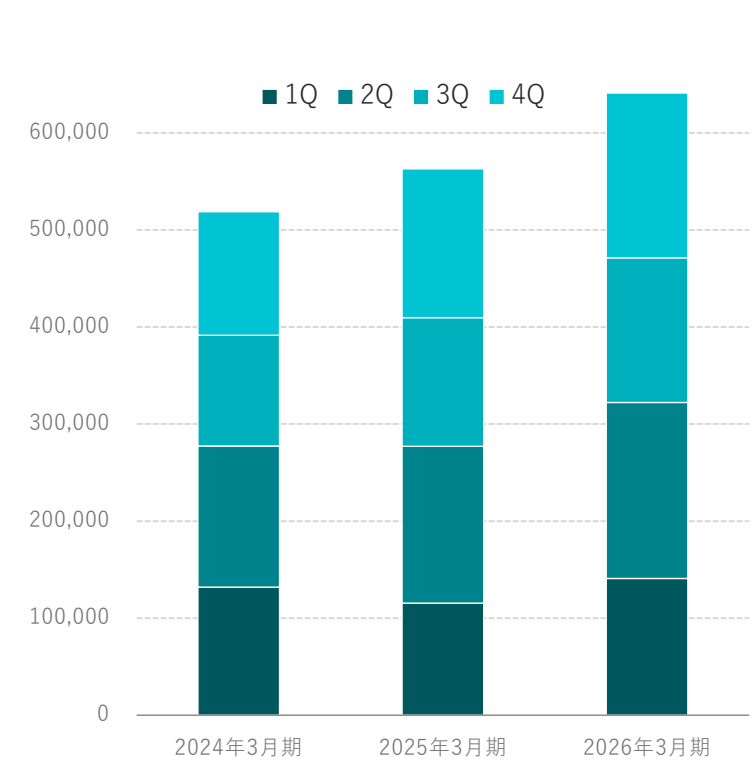
契約口数（件）



契約kW（kW）



販売電力量（千kWh）





低圧

産業・家庭向け

契約電力

50kW未満

- 契約区分：商店や飲食店、事務所、一般家庭などが対象
- 電気使用量は比較的平たんで、24時間の使用量変動が小さい

当社における  
対応状況

	低圧法人	一般家庭
契約口数	約 <b>31,500</b> 件	約 <b>23,500</b> 件

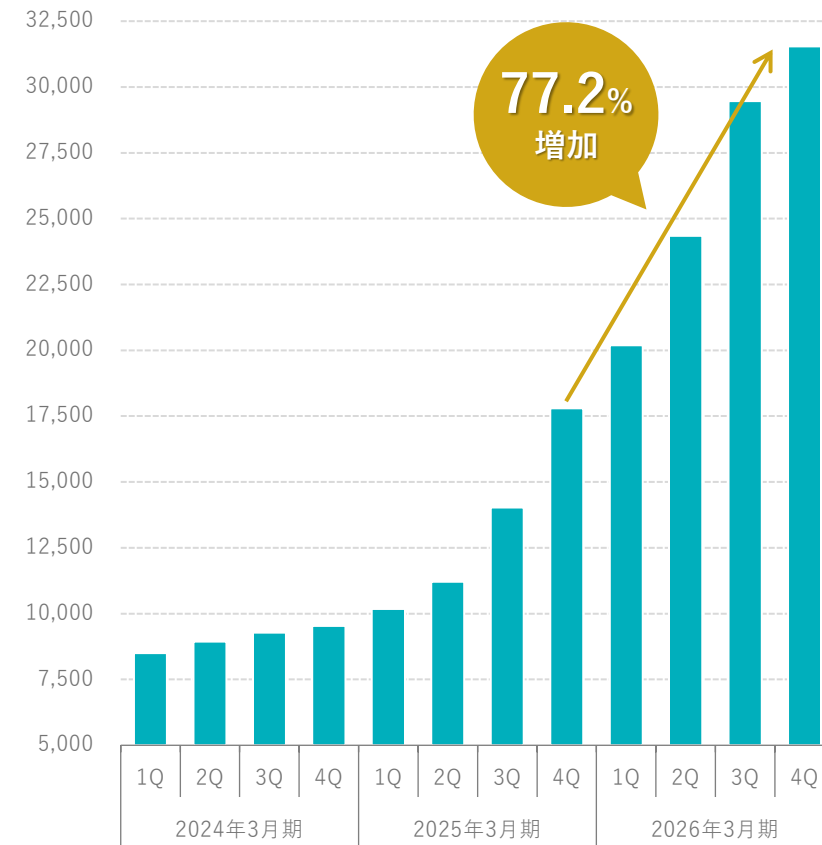
- 低圧法人の契約口数は**前年同期比で77.2%増加**
- 一般家庭の契約口数も**前年同期比で79.2%増加**



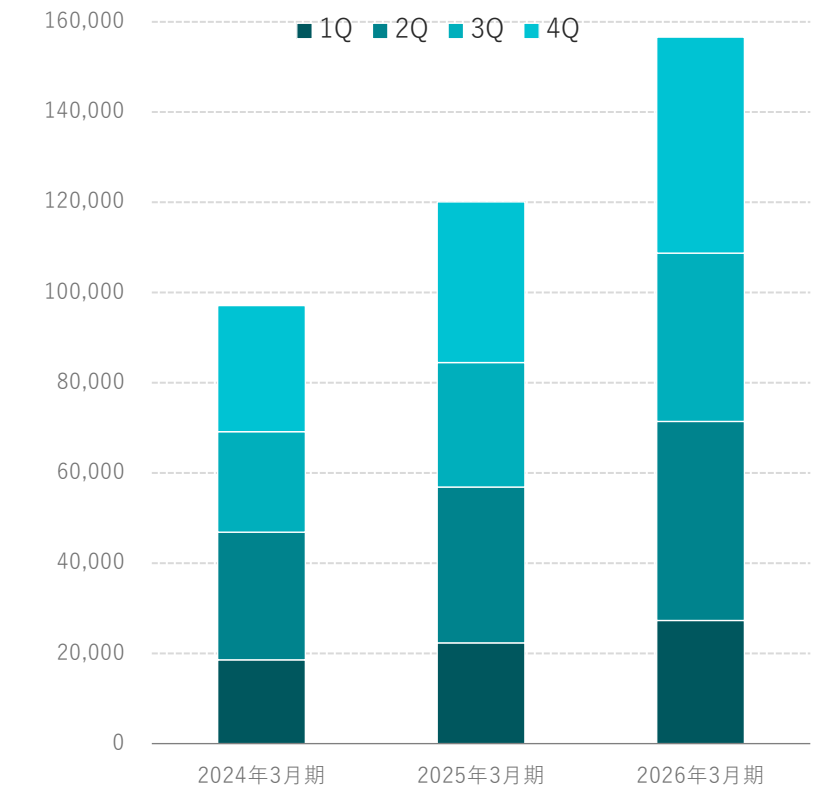
- 代理店網の拡充と連携強化により、**新規受注は想定を上回り推移**
- 低圧法人需要家の**契約口数が3万件を突破**

低圧法人需要家の獲得状況推移

契約口数（件）



販売電力量（千kWh）

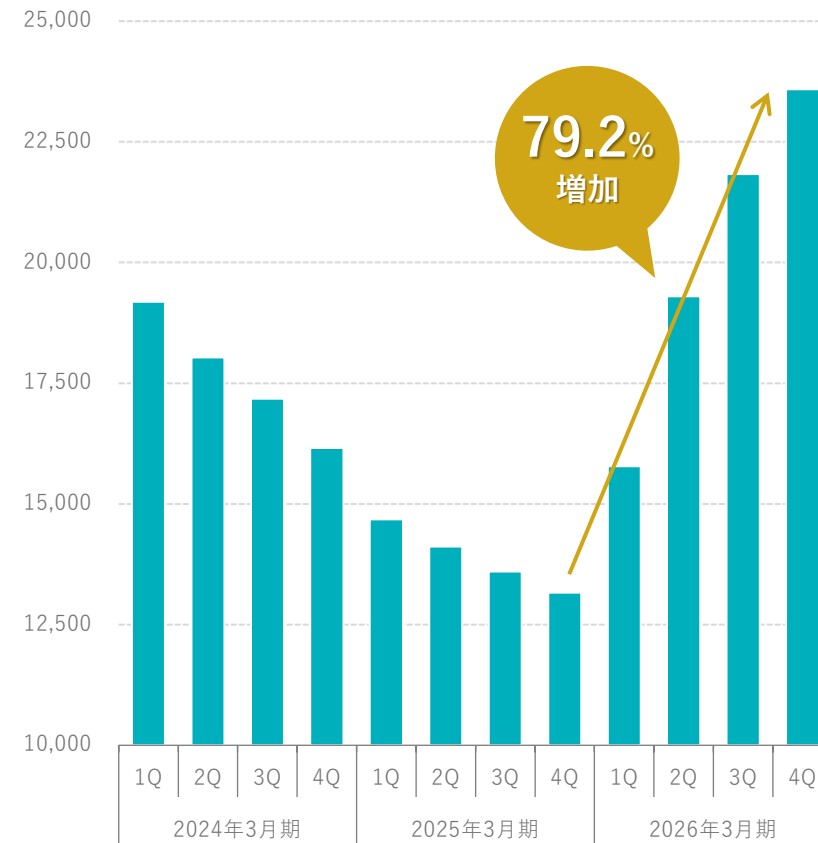




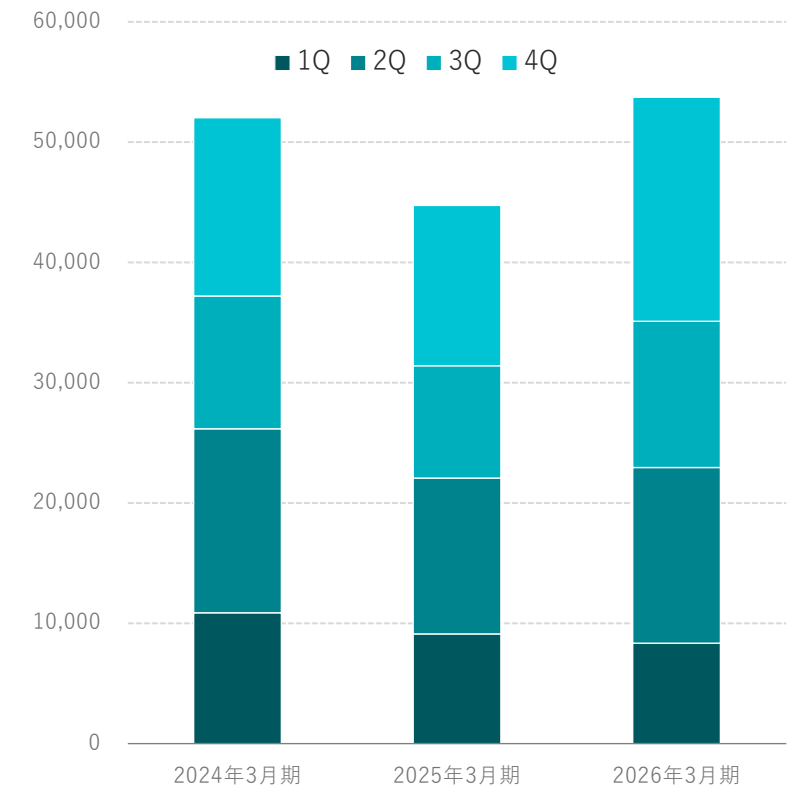
- 低圧一般家庭需要家の**契約口数**は、積極的な販促活動の結果、**当期より大幅に増加**

低圧一般家庭需要家の獲得状況推移

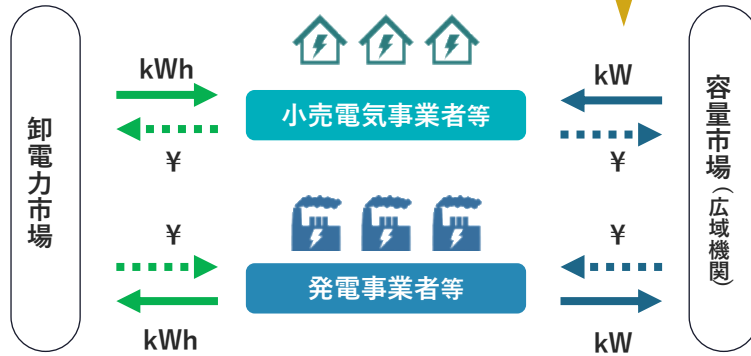
契約口数（件）



販売電力量（千kWh）



## 容量引出金の負担が発生



## 容量引出金制度とは

容量市場\*において国全体で必要な供給力（発電量）を確保するため、発電事業者に渡す**容量引出金を小売電気事業者および一般送配電事業者、配電事業者が負担する制度**のこと。発電所の建設・運営に必要な固定費の一部を小売電気事業者が負担することで、発電事業者が発電所を維持できるようにする。

2026年3月期の容量引出負担金は前年比で減少し、通期実績として583百万円を売上原価に計上。

\*将来必要となる電源設備の「容量」を確保するための市場のこと。従来の卸電力市場は発電した「電力量」（kWh）を取引するが、容量市場は発電することが可能な「容量」（kW）を取引する市場と定義される。

## 供給3年前に電力需要の5割の確保を義務に



## 量的な供給力確保義務とは

小売電気事業者が、将来の電力需要に見合う電力量（kWh）を、事前に中長期的な契約などで確保することを義務づける制度。電力の安定供給を図り、電気料金の急激な変動リスクを抑制することを目的としており、3年前に想定需要の5割、1年前に7割の確保を義務付けるなどの案が検討されている。

## 当社の対応方針

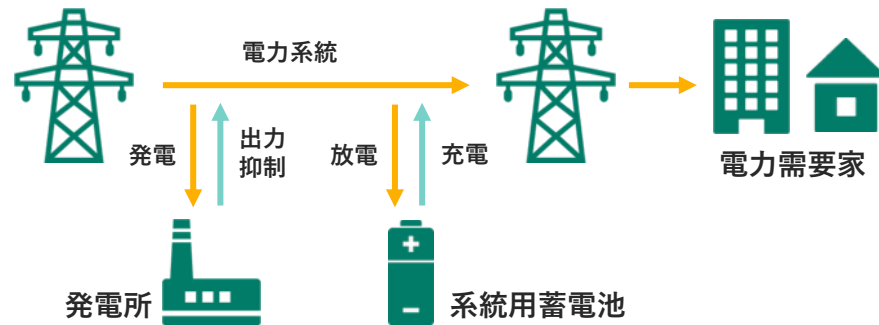
2016年に電力小売ビジネスへの参入以来、電源調達・需給管理を内製化しノウハウを蓄積してきた当社は、上記の制度導入をビジネスの好機ととらえ、より高度なオペレーションを実現し、新たなビジネスチャンスの創出を目指す。

## 蓄電ソリューション事業

## 現在の取り組み

- 系統用蓄電所のコンサルティング

事業用地の選定・調達～蓄電池の販売・設計・施工まで、**高品質かつ最適な蓄電池システムを顧客へ提供**



## 今後の展望について

- 系統用蓄電所の運営

- 蓄電池システムの提供にとどまらず、系統用蓄電事業者となり、**新たなストック収益を確保する**

- 系統用蓄電所の自社保有

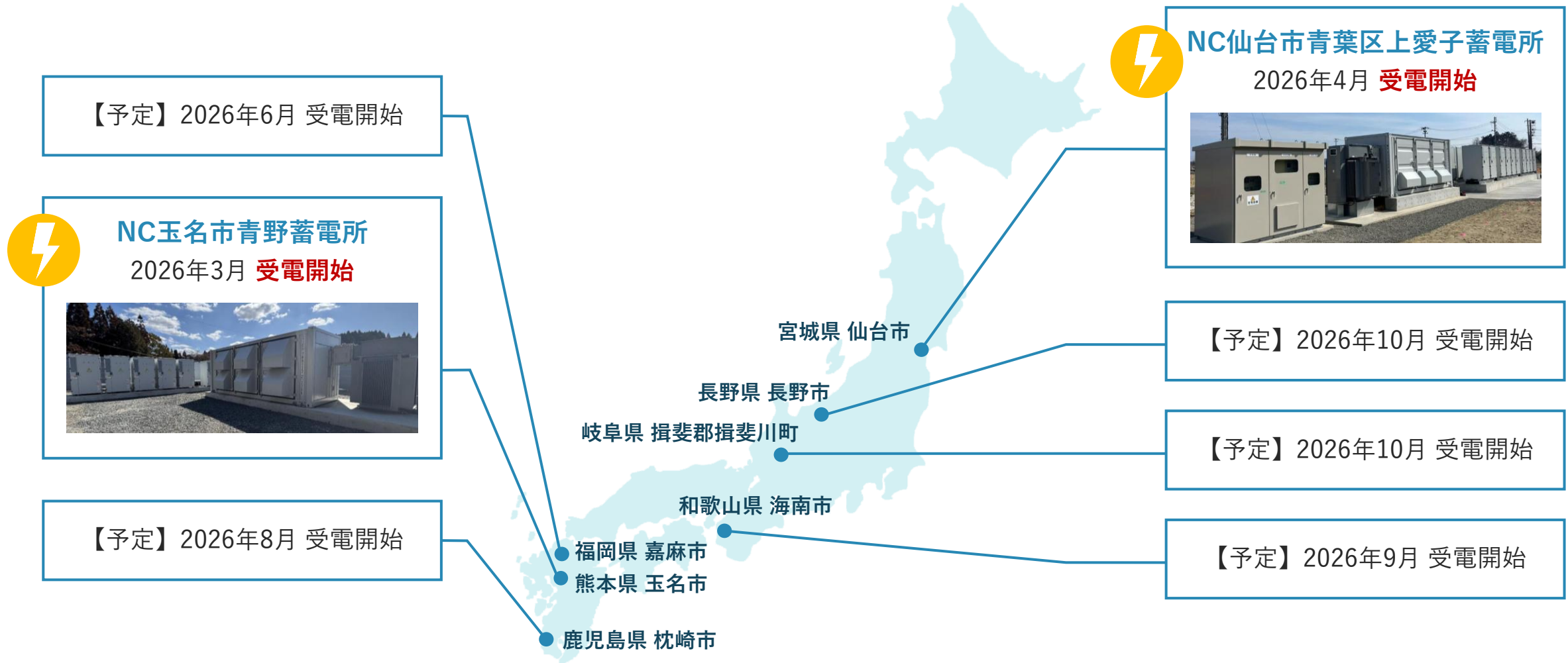
- **系統用蓄電所20件以上の自社保有**を目指す
- 自社保有の系統用蓄電所は、投資金額を2年～4年で元本回収し**安定的な収益に寄与**





# 蓄電ソリューション事業（共同事業：系統用蓄電所）

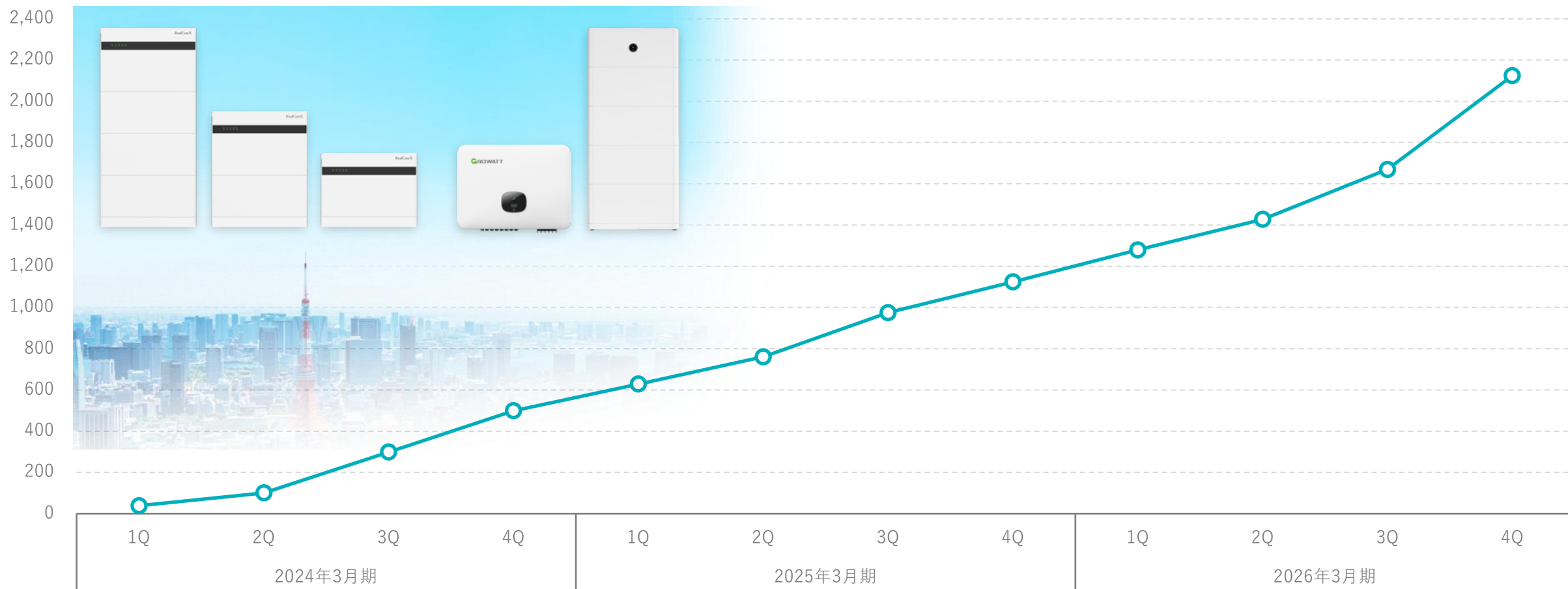
- 日本蓄電池との共同事業により、2026年末までに**計7か所**（各拠点2MW / 8MWh規模）の系統用蓄電所の開発を推進
- NC玉名・NC仙台の**2か所で受電を開始**。今夏より**需給調整市場へ参入**し、運用フェーズへ移行
- 電力系統に**調整力**を提供し、**電力の安定供給**に貢献



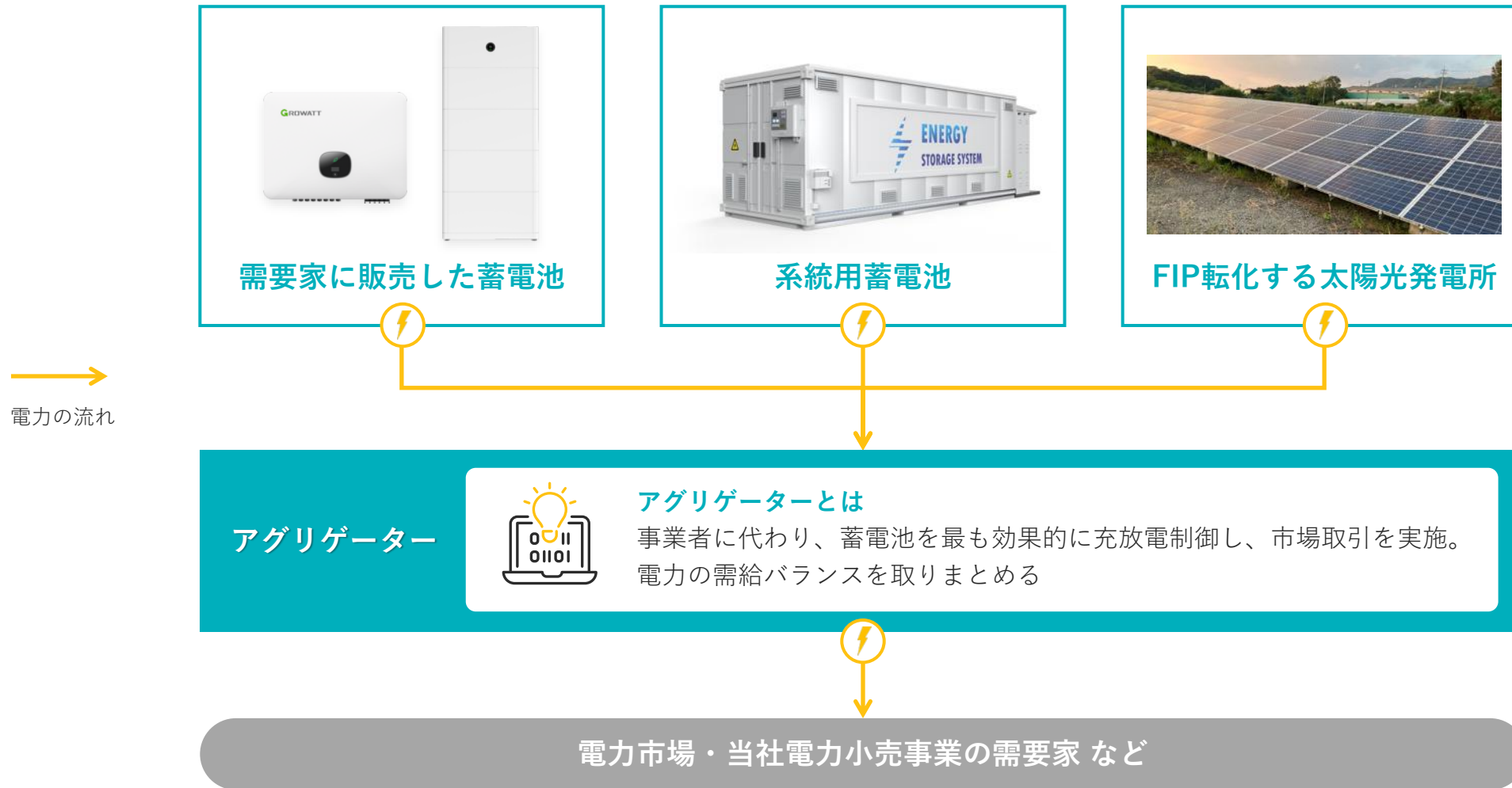
## 蓄電ソリューション事業（蓄電池）

- 代理店網の拡充と積極的な販売活用により、家庭用・産業用小型蓄電池の**売上が伸長**
- 自社ブランド家庭用蓄電池の**次世代モデル『ReafCoreX』**を今夏に販売開始予定

蓄電池販売売上累計（百万円）



- 将来的に、需要家に販売した**蓄電池**、新たな取り組みの**系統用蓄電池**、FIP転化事業で手掛けた**太陽光発電所の電力需給をアグリゲーターとして制御し、新たな収益へ**



- これまでのノウハウと知識を生かした補助金申請支援を通し、企業の再エネ・省エネをサポート

## 補助金支援実績

累計採択件数：**903**件（平成25年度補正予算～現在）

※令和7年度実績 採択件数：**118**件 採択率：**92%**（2026年3月31日時点における実績）

## 主な支援実績補助金

- 経産省 省エネルギー投資促進支援事業
- 経産省 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業
- 環境省 建築物のZEB普及促進支援事業
- 環境省 脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業
- 環境省 コールドチェーンを支える冷凍冷蔵機器の脱フロン・脱炭素化推進事業
- 環境省 ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業
- 環境省 地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業
- 環境省 業務産業用蓄電システム導入支援事業
- 国交省 物流脱炭素化促進事業
- 厚労省 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金
- 東京都 ゼロエミッション化に向けた省エネ設備導入・運用改善支援事業 等

## 登録等

- エネマネ事業者  
（令和6年度補正予算登録）
- ZEBプランナー  
（ZEB30P-00019-C）
- SHIFT事業支援機関

## デジタルアセットマネジメント事業

当社が保有する暗号資産の内訳および損益（2026年3月31日時点）

	保有枚数*1	簿価*2（円）	時価評価額*3（円）	損益*4（円）
BTC	1,414.04609999 BTC	20,671,090,429	14,970,081,847	▲5,701,008,582
ETH	901.44672542 ETH	246,985,504	293,222,590	46,237,086
SOL	13,920.07255868 SOL	262,908,410	178,580,610	▲84,327,800
XRP	1,191,204.799501 XRP	374,819,737	248,902,242	▲125,917,495
DOGE	2,802,311.99657 DOGE	69,306,780	40,336,478	▲28,970,302
合計	—	21,625,110,860	15,731,123,767	▲5,893,987,093

\*1 2026年3月期期首時点の保有枚数に、2025年4月1日以降の追加取得分およびレンディング報酬として受領したビットコインを加算しております。

\*2 2026年3月期期首簿価に、2025年4月1日以降取得したビットコイン取得価額12,951,889,700円およびレンディング報酬として受領したビットコインの評価額（受領各月の平均レートに基づき算出）を加算しております。






\*3 時価は、2026年3月31日の終値(2026年3月31日24:00時点)を基に算出しております。

\*4 2026年3月期連結累計期間(2025年4月1日～2026年3月31日)の損益計算書に売上高(損失)として計上しております。

# デジタルアセットマネジメント事業

2026年4月中に、総額10億円相当のビットコインを追加購入

当社が保有する暗号資産の内訳および損益（2026年5月15日時点／期末後の購入分を反映）

	保有枚数*1	簿価*2（円）	時価評価額*3（円）	損益*4（円）
 BTC	1,496.39654303 BTC	15,997,423,661	19,158,290,120	3,160,866,459
 ETH	901.44672542 ETH	293,222,590	326,035,251	32,812,661
 SOL	13,920.07255868 SOL	178,580,610	203,135,618	24,555,008
 XRP	1,191,204.799501 XRP	248,902,242	277,056,368	28,154,126
 DOGE	2,802,311.99657 DOGE	40,336,478	50,974,055	10,637,577
合計	—	16,758,465,581	20,015,491,412	3,257,025,831

\*1 2027年3月期首時点の保有枚数に、2026年4月1日以降の追加取得分およびレンディング報酬として受領したビットコイン（2026年4月30日時点）を加算しております。

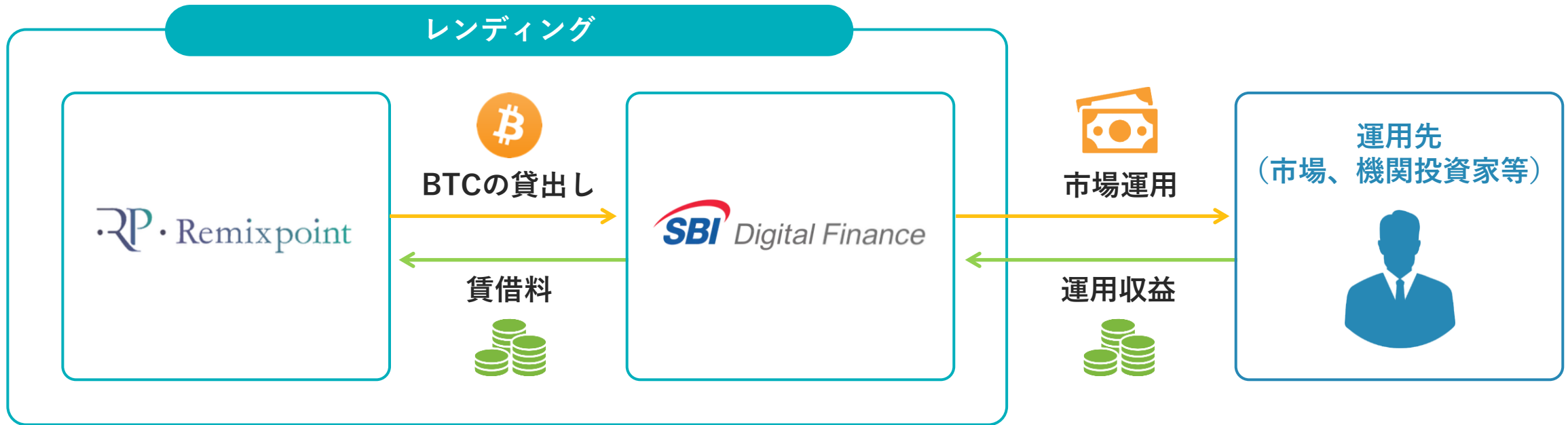
\*2 2027年3月期首簿価に、2026年4月1日以降取得したビットコイン取得価額1,000,000,000円およびレンディング報酬として受領したビットコインの評価額（受領月の平均レートに基づき算出）を加算しております。

\*3 時価は、2026年5月14日の終値(2026年5月14日24:00時点)を基に算出しております。

\*4 2027年3月期第1四半期累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)の損益計算書に売上高(利益)として計上いたします。

## レンディングサービスを活用し、BTCの運用を開始

- 2026年2月より、SBIデジタルファイナンスのレンディングサービスを活用し、保有する**全1,411BTCの貸付運用を開始**
- **資産運用戦略の高度化**と持続的な企業価値向上を目指す
- 対価としての貸借料が元本に加算され、当社の**BTC保有枚数が増加**



引き続き、手元資金等を活用した取得・運用を継続し、  
暗号資産の購入を目的とした新株予約権を含む株式の発行（希薄化）は行いません



## Appendix

# 四半期毎損益計算書推移

(単位：百万円)		2025年3月期				2026年3月期				
		4~6月 (1Q)	7~9月 (2Q)	10~12月 (3Q)	1~3月 (4Q)	4~6月 (1Q)	7~9月 (2Q)	10~12月 (3Q)	1~3月 (4Q)	累計 (4~3月)
売上高	エネルギー事業	3,798	6,350	4,804	5,710	4,139	6,361	4,840	5,750	21,092
	蓄電ソリューション事業	193	271	329	575	230	389	408	1,363	2,392
	デジタルアセットマネジメント事業	—	—	84	▲2,134	1,970	1,768	▲4,738	▲4,888	▲5,887
	その他	315	339	301	188	153	—	—	—	154
	合計	4,307	6,961	5,520	4,340	6,494	8,519	510	2,227	17,751
営業利益 (▲は損失)	エネルギー事業	181	629	272	310	183	589	195	68	1,036
	蓄電ソリューション事業	▲2	31	44	217	▲9	134	87	347	559
	デジタルアセットマネジメント事業	—	—	67	▲2,166	1,970	1,768	▲4,738	▲4,888	▲5,887
	その他	49	55	19	▲83	▲14	▲1	▲0	▲0	▲15
	セグメント調整額	▲174	▲218	▲178	▲265	▲388	▲301	▲230	▲250	▲1,170
	合計	53	497	225	▲1,988	1,741	2,189	▲4,685	▲4,722	▲5,477
経常利益 (▲は損失)		41	467	951	▲2,001	1,760	2,176	▲4,714	▲4,724	▲5,501
親会社株主に帰属する当期純利益 (▲は純損失)		19	408	927	▲1,948	2,283	1,827	▲4,108	▲4,742	▲4,740

# 連結貸借対照表推移

## 資産の部

(単位：百万円)	2025年3月31日現在	2026年3月31日現在
現金及び預金	5,103	1,993
売掛金及び契約資産	3,766	3,892
仕掛品	0	379
自己保有暗号資産	8,674	771
営業投資有価証券	415	364
貸付暗号資産	—	14,970
その他	696	1,001
<b>流動資産計</b>	<b>18,657</b>	<b>23,374</b>
<b>固定資産計</b>	<b>1,886</b>	<b>4,347</b>
<b>資産合計</b>	<b>20,543</b>	<b>27,721</b>

## 負債・純資産の部

(単位：百万円)	2025年3月31日現在	2026年3月31日現在
買掛金	1,233	1,567
預り金	223	288
短期借入金	200	500
その他	862	1,376
<b>流動負債計</b>	<b>2,519</b>	<b>3,732</b>
<b>固定負債計</b>	<b>111</b>	<b>—</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,631</b>	<b>3,732</b>
<b>純資産合計</b>	<b>17,911</b>	<b>23,988</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>20,543</b>	<b>27,721</b>

# リミックスポイント 会社概要

商号	・RP・Remixpoint 株式会社リミックスポイント
本社	東京都港区虎ノ門4-3-9 住友新虎ノ門ビル
設立	2004年3月
資本金	5,686百万円（2026年3月末時点）
子会社	イプシロン・ホールディングス株式会社 株式会社シールエンジニアリング
決算期	3月
代表者	代表取締役社長 CEO 高橋 由彦
事業内容	エネルギー事業 蓄電ソリューション事業 デジタルアセットマネジメント事業 その他の事業



- ① 本資料に含まれる予想数値および将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手している情報による判断・評価・仮定に基づいております。その判断・評価・仮定に内在する不確定性・不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等により、実際に生じる結果が予測内容等とは実質的に異なる可能性があります。当社グループは、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- ② 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社グループにより何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ③ 目的を問わず、本資料を無断で引用又は複製することを禁じます。